

◆今期間のポイント

＜主要しょう乱の概要＞

- 5日は、日本付近は冬型の気圧配置となる。
- 6日は、高気圧が本州付近に移動し、冬型の気圧配置は解消する。
- 7日は、日本付近を気圧の谷が通過する。
- 8日は、低気圧が日本の東で発達し、冬型の気圧配置となる。
- 9日は、高気圧が日本の南に張り出す。日本海に低気圧が進み、冬型の気圧配置は解消する。

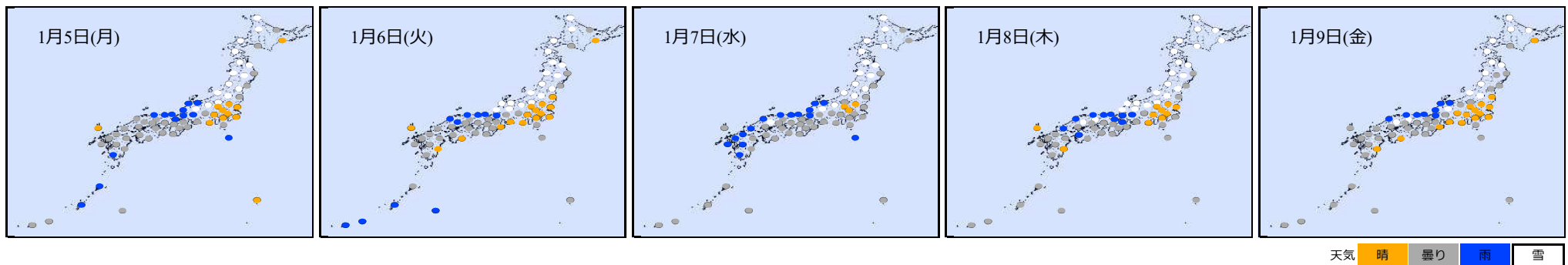
＜防災事項＞ 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- なし。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

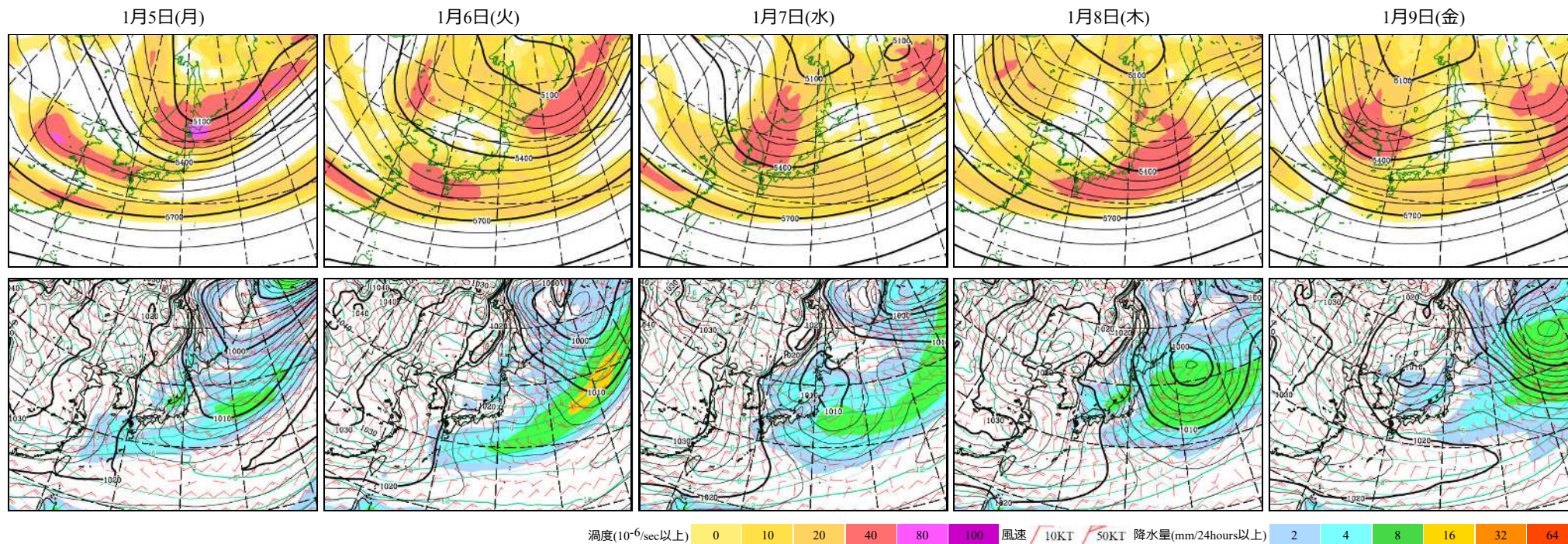
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

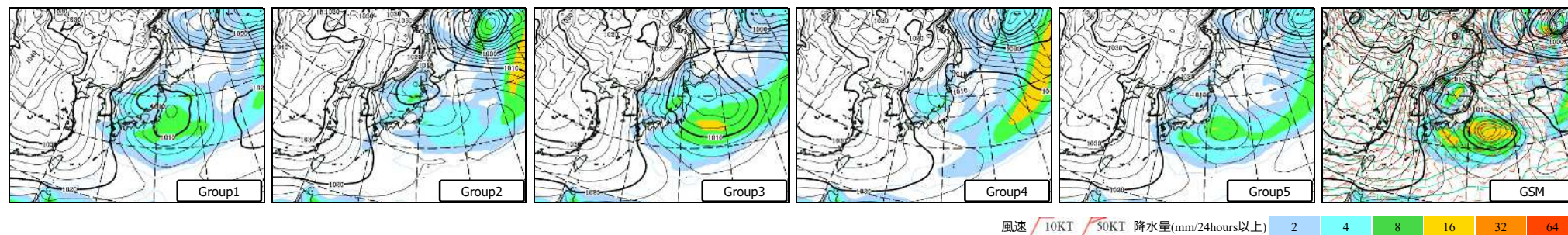


- 北日本と東日本から西日本にかけての日本海側は、曇りや雪または雨の降る日が多い。
- 東日本太平洋側は、晴れまたは曇りとなる。
- 西日本太平洋側は、雲が広がりやすく雨または雪の降る所がある。
- 沖縄・奄美は、雲が広がりやすく5日から6日にかけて雨の降る所がある。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆1月7日のENSクラスター平均(グループ1～5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、大きな初期値変わりはない。9日に北日本に進むリッジと黄海付近に進むトラフが明瞭になった。地上の気圧配置の予想は、9日は日本海の低気圧が明瞭になった。
- ENSとNCEPは初期値変わりが小さい。GSMとECMは7日から8日にかけて日本付近に進むトラフが深くなり、東進が遅くなった。昨日資料と比べてモデル間の差は小さくなった。
- GSM、ECM、NCEPは、7日は本州南岸付近に低気圧を予想する。ENSには同様の予想をするメンバーもあるが、低気圧の位置や発達にはばらつきがある。また、南岸に低気圧を予想しないメンバーも含んでいる。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。
- 7日頃に本州南岸を低気圧が進む可能性がある。本日の資料では気温の予想から本州太平洋側で雪になる可能性は小さい。今後の資料に留意。